

口腔維持系診療科

# 歯科麻酔疼痛管理科

TEL 022-717-8352(外来)



科長  
水田 健太郎 教授



## 地域の先生方へ

外来の新患日は火曜・木曜・金曜、再来診療日は月曜～金曜となっており、原則として他の医療機関からの紹介状が必要です。



診療科WEB



外来担当医表

## 診療内容

**手術室での麻酔管理:** 歯科及び口腔外科の手術における全身麻酔・鎮静管理を行っています。麻酔管理に際しては、麻酔を受ける全ての患者さんに対して外来診察室で術前診察を行っております。患者さんの全身状態と手術内容を包括的に評価し、その時点で考えられる最適な方法を十分に説明しております。

**全身麻酔下歯科治療:** 歯科治療に対する恐怖心や不安感が強い方(歯科治療恐怖症)、歯科治療が苦手な小児患者、口腔内に治療器具が入ると嘔吐反射が生じる方(異常絞扼反射)は通法の歯科治療の受容が困難です。このような方々の口腔は多数歯にわたるう蝕・歯周病への罹患で崩壊しており、チームアプローチによる適切な対応が不可欠です。当科では全身麻酔下での一括歯科治療を行っています。

**歯科外来での麻酔管理(鎮静):** 静脈内鎮静法を用いて、歯科治療中の患者さんの精神的ストレスを軽減し、より快適かつ安全に歯科治療を受けられるようにしています。

**局所麻酔薬アレルギー検査:** 「以前に歯科治療を受けたときに気分が悪くなり、局所麻酔薬アレルギーと診断され、以来歯科治療を受けられずにいる」という患者さんがいらっしゃいます。実際にはこのような症状のほとんどは、血管迷走神経反射や、局所麻酔薬に含する血管収縮薬の作用によるものです。しかしごく少数ながら、真のアレルギー症状を呈する患者さんもおります。病歴から局所麻酔薬アレルギーが強く疑われたり、局所麻酔薬の使用に強い不安をもつ患者さんに対して、局所麻酔薬の即時型皮膚反応検査(プリックテスト、皮内テスト)やチャレンジテストを行っております。

## 得意分野

歯科治療恐怖症、異常絞扼反射(嘔吐反射)を有する患者さんの治療を行う専門チーム(全身麻酔下歯科治療チーム)を運営しています。専門診療科が集結している大学病院の特徴を生かし、周術期管理は当科が、また歯科治療は複数科(保存系診療科/補綴系診療科/歯科顎口腔外科/小児歯科/障がい者歯科治療部)の歯科医師が歯科治療に参画し、高品質な歯科医療を提供しております。全身麻酔下に一括して歯科治療を行いますので、通院での治療に比べて治療回数を大幅に減らすことも可能です。



## 主な対象疾患

歯科、口腔外科手術全般の麻酔管理  
(全身麻酔、静脈内鎮静法)  
歯科治療恐怖症  
異常絞扼反射(嘔吐反射)  
局所麻酔薬アレルギー



手術室での全身麻酔管理